

初修フランス語デジタル教科書と連携するクラスノート機能の開発

Development of a Class Notebook Function for Digital Textbooks in French Beginner Classes

喜久川 功^{*1}, 有富 智世^{*1}
Isao KIKUKAWA^{*1}, Chise ARITOMI^{*1}
^{*1} 常葉大学
^{*1}Tokoha University
Email: kikukawa@sz.tokoha-u.ac.jp

あらまし:これまでの研究成果を発展させ, 様々な授業形態でのクラス運営を支援する「学習ガイド機能」を開発した. これを踏まえ, 本機能と併せて効果的使用が見込める「クラスノート機能」の検討に至った. クラス毎に適合させたデジタルノートの活用ができ, 授業者のオリジナリティも反映したデジタル教科書・教材の拡張的使用も図られる. 本稿では, 初修フランス語「デジタル教科書」と連携する「クラスノート機能」について概説する.

キーワード: フランス語教育, デジタル教科書, 学習ガイド機能, デジタルノート, クラスノート機能

1. はじめに

語学教育における ICT 活用の有用性から, 初修外国語教育 (フランス語) を対象に「デジタル教科書・教材」の研究開発を進めてきた^{(1)・(2)・(3)}. 直近では, 対面授業・遠隔授業・ハイブリッド型・ハイフレックス型等, 様々な授業形態に対応させたクラス運営を支援する「学習ガイド機能」を開発し, 実装に至った⁽⁴⁾. 2022年度は, より効果的なクラス運営支援が可能となるよう, 本「デジタル教科書・教材」に「クラスノート機能」を組み込むこととした.

本稿では, 本機能について概説する.

2. クラスノート機能の概要

まず, 「クラスノート機能」で可能となる点について, 以下に挙げておく.

[1] 学習者は, 自分のデジタルノートを「デジタル教科書・教材」の「クラス」に登録できる

[2] 授業者は, 「クラスに所属している学習者一覧 (以下, 「学習者リスト」)」から, 各学習者が登録したデジタルノートにアクセスし, 閲覧が可能となる

[3] 対面授業時やリアルタイム型遠隔授業時等において本機能を用い, 学習者のデジタルノートを開示する場合, 「学習者リスト」を匿名で表示することができる (「匿名モード機能」)

[4] 「匿名モード機能」では, 学習者のノート一覧リストに印 (☑) がつけられ, 開示したい学習者のデジタルノートを簡易に識別できる

[5] 「デジタルノート」を用いた活動 (追加課題・作文・添削指導等) の学習指示では, 「学習ガイド機能」を利用できる

図 1 に, 「クラスノート機能」の学習者 ID 用インターフェースを示す. 学習者は, 本インターフェースを用いて, 自分のデジタルノートの「共有リンク (編集も許可しておく)」を「デジタル教科書・教材」に登録する ([1]に対応).

図 2 に, 「共有リンク」の具体例を示す. この例は, Microsoft 社のデジタルノートツールである OneNote での「共有リンク」だが, 同様なことが行えるのであれば, 他のツールを利用することも可能である.

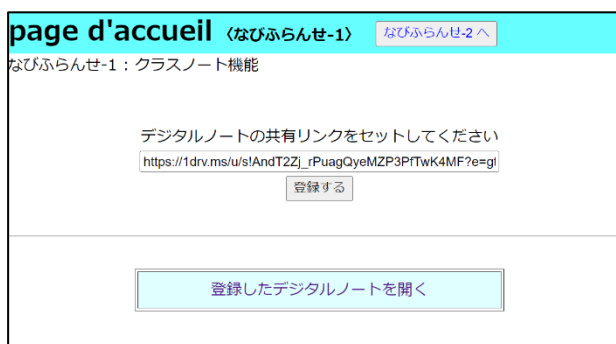


図 1 学習者 ID 用インターフェース

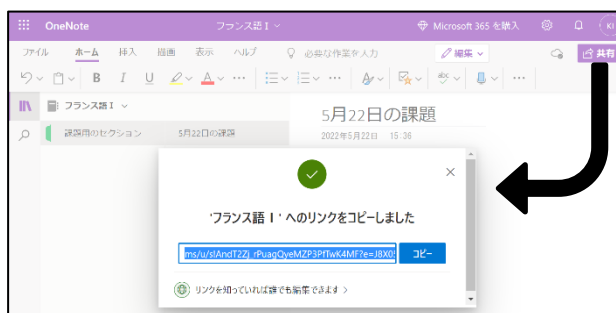


図 2 「共有リンク」の例 (OneNote の場合)

図 3 に, 授業者 ID 用インターフェースを示す. 授業者は, 本インターフェースを用いて, 学習者のデジタルノートにアクセスする ([2]に対応).

なお、「編集が許可された共有リンク」であるため、授業者は閲覧のみならず、アクセス先のノート上で編集作業も行える。

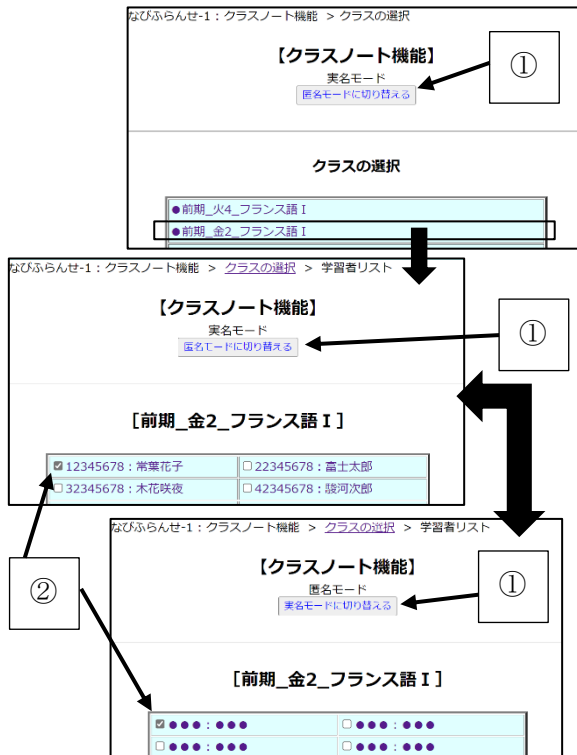


図3 授業者 ID 用インターフェース

また、授業者は、図3の①のボタンをクリックすることで、「实名モード」と「匿名モード(学籍番号と氏名が●で表示)」の切り替えが可能である([3]に対応)。

図3の②は、「匿名モード」利用の際に、学習者ノート一覧リストから開示したい学習者のデジタルノートを識別・選択するためのチェックボックス(☑)である([4]に対応)。

以上、「クラスノート機能」の仕組みについて、概説した。

3. 「学習ガイド機能」と「クラスノート機能」

図4に、「学習ガイド機能」で作成した「学習指示」の画面を示す。「クラスノート機能」を用いた活動(デジタルノート課題)のための解説画面である。学習者は、本「学習指示」を参照し、各自で課題に取り組む。授業者は、適宜、各学習者のデジタルノートにアクセスし、課題達成状況の確認やフィードバックの書き込み等を行う。このように、デジタルノートを用いた追加課題や作文・添削指導等では、「学習ガイド機能」を利用して学習者に課題の実施を指示する([5]に対応)。

なお、「学習ガイド機能」や「クラスノート機能」を容易に運用できるように、授業者用と学習者用のマニュアルを整備し、デジタル教材からダウンロードで閲覧できるようにする。

【デジタルノート課題①】	
内容	
①	まず、自身のOneNoteで「5月23日の課題」というページ名でページを新しく作成しましょう
②	次に、以下のリンクから課題ファイルをダウンロードしてください 》 課題ファイル
③	その後、①で作成したページに課題ファイルを「印刷イメージ」で挿入しましょう
④	以下の中から自分を取り組みやすい方式を選んで課題に取り組みましょう ・同ページ余白にペン機能を用いて解答を記述する ・テキストボックスを挿入して解答を記述する ・解答をWordで作成し、同ページに「印刷イメージ」で挿入する
補足 ①	OneNoteの操作方法については、以下のマニュアルを参照してください 》 OneNote簡易マニュアル

図4 学習ガイドによるデジタルノートの課題指示

4. おわりに

本稿では、これまで開発した「初修フランス語デジタル教科書・教材」に組み込む「クラスノート機能」について概説した。本機能の搭載により、授業者がクラスに適した課題の提供を行え、学習者の個別指導における選択肢も拡大する。また、本機能は様々な授業形態に対応させたクラス運営を支援する「学習ガイド機能」を利用することで、クラス毎のデジタルノート活用を効率よく実現できる。

今後は、「クラスノート機能」を用いた授業実践を通して検証を重ね、本機能の精査を行う予定である。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 18K00759 の助成を受けた。

参考文献

- (1) 有富智世, 喜久川功: “デジタル教材「Web(なびふらんせ)」”, <http://navifr.sz.tokoha-u.ac.jp/> (2012-現在に至る)
- (2) 有富智世, 喜久川功, 安藤博文, 内田智秀, 服部悦子, 山田敏之: “授業内学習と自主学習を活性化する学習支援ツールの一体化 -デジタル教科書・デジタル教材・eポートフォリオ・教材ダウンロード-”, 関西フランス語教育研究会, RENCONTRES 32-2, pp. 11-15 (2018)
- (3) 喜久川功, 有富智世: “効率的かつ効果的な授業運営を可能にする初修フランス語指導者用デジタル教科書の開発”, 日本教育工学会 2022 年春季全国大会講演論文集, pp. 263-264 (2022)
- (4) 喜久川功, 有富智世: “外国語学習用デジタル教科書・教材を用いたクラス運営を支援する学習ガイド機能の実装”, 教育システム情報学会研究報告, Vol.36, No.6, pp. 45-50 (2022)